

# 交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部文化学科
学年(出発時)	3年
大学名	University of Central Lancashire
国	イングランド
留学期間	2014年9月5日～2015年6月11日
派遣先での身分	

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	授業
10:00	授業
11:00	
12:00	
13:00	昼食
14:00	
15:00	授業
16:00	
17:00	買い物など
18:00	クラブ活動
19:00	
20:00	
21:00	夕食
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Academic Reading	2時間×2	未定	英語	授業内容で配布される英文を読み、加えてディスカッション
Academic Writing	2時間×3	未定	英語	Writingのテクニックや書き方などの演習
Academic Listening & Speaking	2時間×2	未定	英語	ビデオや講師によるプレゼンテーションや講義を受け、後日レポートを提出
Exam Preparation	2時間×1	未定	英語	IELTSのスコア工場に向けた総合問題の演習
Social&Culture	2時間×1	未定	英語	クラスアシスタントとともにイギリス文化に触れ、プレゼンテーションの練習など

大学のサポート	
チューターの有無	なし
チューターのサポート内容	なし
語学コースの有無	
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	学生寮
住居の名前	Whitendale Hall
部屋タイプ	個室
ルームメイト(国籍)	イギリス人
室内設備	洗面台、机、引出し、ベッド
共用施設	バス、トイレ、キッチン
インターネット設備	有
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩
アルバイトの有無	なし
アルバイトの内容	なし

渡航	
Visaの種類	Student Visitor English Language
Visa申請先	Imigration Office
Visa取得にかかった日数	10日
Visa取得にかかった費用	約8万
Visa取得方法、提出書類等	VISA取得代行サービスを利用
留学先大学の最寄り空港までの経路	中部国際空港→羽田空港→シャルルドゴール空港/パリ→マンチェスター空港/マンチェスター
渡航費用	179942円
ピックアップサービスの有無	なし

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有
有る場合、その理由	就職活動による
就職活動開始時期	帰国一週間後
帰国後の進路	未定

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	£1＝175～195円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	121150円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	267900円×2＝535800円(三重大学学費)
宿舍費(月額)	£3417.80(＝約62万円、一括払い)
光熱費(月額)	宿舍費に含む
食費(月額)	宿舍費に含む
その他	(1340,000円生活費等)
留学期間中にかかった費用の合計	約2240,000円

**感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)**

語学コースで勉強していたが、留学生のレベル別にクラスが分けられたもののそれは4つの能力(Reading, Listening, Writing, Speaking)の総合によるため、各分野での能力の差があり、それぞれの分野においてレベルの低い学生に合わせざるを得ない状況であった。またコース自体に日本人が多く(私が在籍していたクラスでは偶然日本人は少なかった)コースとしての物足りなさを感じる結果になった。語学コースと学部留学の差は大きく、この点は私の不満であり、コースの改善点とも言えるであろう。

生活面では外国人として生活することにより、大きく成長することができた。最初のうちは友人も何を話しているかわからず、イギリスでの生活になじむことができなかつた精神的に苦しい時期だった。しかし、1月の上旬にイギリス国内を一人旅し、留学で自分は何をしたいのかなど考えているうちに、環境の変化を受け入れることがようやくできた。この旅行が転換期となり、自分の殻を破ることができたのだと思う。その後は少しずつコミュニケーションを求めるようになった。

留学期間中いろいろな場所に行ったが、旅行は精神的に自分を大きくした。4月にはギリシャとイタリアに行った。そこでは英語が通じない人も多く、本当の意味でのコミュニケーション能力が必要だった。特にイタリアではホテルの場所が見つからずに大変困った。たくさんの人に道を聞いてなんとかたどり着くことができたが、英語ができない人もなんとか教えてくれようとして、大変ありがたいものだった。ギリシャではバスの切符の買い方がわからないときに自分よりやや年上の男性に尋ねたが、彼は自分が乗るはずだったバスが来たのにもかかわらず非常に親切にしてくれた。もし、日本で自分が外国人に助けを求められたときには彼らのように相手の親身になってあげたいと思った。自分の弱さにも向き合うことができた。フランスに行ってイギリスに電車で帰るとき、私はすでにチェックインを済ませたと思っていたができておらず、予定の電車を逃すことになってしまった。私はそのショックと帰れないかもしれないという不安からかなり動転してしまい、パスポートのチェックの係員に挨拶すらできなかった。この経験は私にとって大きなもので、不慮の事態の自分の弱さを反省した。

この留学ではイギリス人に限らず様々な国の人に出会うことができた。日本で生活をしていたら出会えなかつたであろう世界を自分のみを持って体験できたことは今後の人生の大きな糧となる。グローバル化の時代でどう自国が見られるかを考えたりするなど海外での経験を得ることができたことがこの留学の大きな成果である。

### 今後留学する人へのアドバイス

自分自身の反省として準備を早めに始めることが留学生生活を充実させるうえで最も重要なことである。私は準備に取り掛かる時期が遅く、出国ギリギリまで準備に追われ休む間もなくイギリスに旅立ったという感覚があった。特にイギリスのVISAは留学資金の証明が必要でそれをするには少なくとも一か月はかかる。必要書類をそろえVISAが手元に来るまでには時間をようするため、かなり早い段階からの準備が必要である。また、実際に留学にいった人に話を聞くことで、留学先での生活がイメージでき効率よく準備に取り掛かることができる。

留学生活が始まってからの過ごし方は様々であろうが、他を受け入れ何事も考えすぎないということが大切になってくると考える。私は自分の殻にこもってしまったことを深く後悔している。一人旅をするのも自分の世界を広げることにつながる。イギリス国内はもちろんヨーロッパ諸国への交通アクセスが大変よく憧れの国に行く恰好の機会となるだろう。長期休暇にヨーロッパを一人旅する留学生は多く、旅を通じ自分を大きくすることができる。留学を期に日本からはなかなか行かないような場所に行ってみるのもよいだろう。

3年次後期から4年次前期にかけていく人は帰国のプランをしっかりと立てていく必要がある。特に語学を学びに行く人は企業によっては、学位を取得しない留学を評価しないところもあるため、就活の時期が遅れるということを感じておく必要がある。

報告書記入日